

事業名	観光物産会館等指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予 算 科 目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課				観光物産会館等指定管理事業	款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				業	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	事業 期 間	目	5	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり			佐野市観光物産会館条例 佐野市観光物産会館条例施行規則	開始年度	H20	実施方法	指定管理者
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館において、観光情報の提供や地場産品の展示販売の健全かつ運営効率向上を図るため、観光や物産の振興を特定目的とする佐野市観光協会を指名し、指定管理者として運営を委託する。
------	--

(2) 目的

観光客等に佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館の存在を知ってもらい、物品を購入してもらうとともに、安全に施設を利用できるよう維持管理を行う。

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
観光物産会館来館者数	人	410,000	250,000	311,000	365,000	368,000
観光物産会館売上額	千円	240,000	150,000	180,890	206,390	217,890

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館の管理運営の委託（令和3年度～令和5年度）

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
管理委託料	円	2,100	2,100	2,100
指定管理者との打合せ回数	回	12	12	12
事業費計	千円	5,657	8,020	2,857
一般財源	千円	5,657	8,020	2,857
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

来館者数及び売上額ともに増加となった。

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
観光物産会館来館者数	人	182,430	246,802	282,775	値が大きいほど良い	効果が上がった
観光物産会館売上額	千円	102,005	144,167	165,981	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	○		
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、感染症拡大前の状況に近づいている。光熱費及び人件費の高騰により固定費が増加している。事業の取捨選択による人件費の削減や、イベント・キャンペーン企画等により売上を向上させる必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 利用料収入による施設の管理運営を検討する。
---	--------------------------------------

事業名	旧佐野市民会館PCB廃棄物処理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度のみ	
	課	観光推進課				旧佐野市民会館PCB廃棄物	款	7 新規or継続	新規事業
	係	観光推進係				処理事業	項	1 市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	目	4 義務or任意	義務的事業		
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適	事業	開始年度 R5	実施方法 一部委託		
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり	正な処理の推進に関する特別	期間	終了年度 R5	事業分類 施設維持管理事業		
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備	措置法					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	特別管理産業廃棄物の1つであるPCB廃棄物については、法令により令和8年度までに全量廃棄処理することが義務付けられている。法律に則り適正に廃棄処理する。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設で発見されたPCBを含む機器等の処理を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		PCBが含まれた機器の処理率	%			100	-	-

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	PCBが含まれた機器の処理数 計2器 電気機械器具 (S-7.5A O2HA) コンデンサー (BRTR-A6JR)	活動指標	単位	R3	R4	R5
		PCBが含まれた機器の処理数	個	-	-	2
		事業費計	千円	0	0	123
		一般財源	千円			123
		特定財源 (国・県・他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	令和9年に低濃度PCB廃棄物の処分期限が切れる前に効果的にPCBが含まれた機器の処理をした	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		PCBが含まれた機器の処理率	%			100	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用が下がった	費用が増加した
			費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度に所管するPCB廃棄物の処理が完了したため事業終了。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	令和5年度に所管するPCB廃棄物の処理が完了したため事業終了。
------	---------------------------------

事業名	根古屋森林公園指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	観光推進課				根古屋森林公園指定管理事業	款	7 新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係				業	項	1 市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	6 義務or任意	任意の事業		
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり			佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則	開始年度	H18	実施方法	指定管理者
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	根古屋森林公園の総合案内施設、キャンプ場、コテージ、根古屋亭、貸農園、飛駒和紙会館等の維持管理、運営を指定管理者に行わせる。市は適切な維持管理、運営が行われているか状況を把握し、管理・指導を行う。
------	--

(2) 目的

施設や周辺の整備を行い、伝統文化である飛駒和紙をPRすることで利用者の拡大を図るとともに、安全な施設利用ができるよう維持管理を行う。

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
施設利用者数	人	2,600	2,600	2,700	2,800	2,900
指定管理料を除く収入実額	千円	5,650	5,950	6,250	4,800	4,900
案内看板設置・改修箇所数	箇所	1	2	2	2	2

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

施設の利用促進と宿泊客の確保。貸農園の利用促進。和紙会館での伝統文化の周知など。

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
修繕箇所数	件	2	2	3
市の観光入込客数	千人	6,503	6,429	7,134
市の観光客宿泊数	人	40,914	56,943	64,290
事業費計	千円	12,778	14,315	13,593
一般財源	千円	12,778	14,315	13,593
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

施設利用者数及び指定管理料を除く収入は増加している。

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
施設利用者数	人	1,215	1,578	1,868	値が大きいほど良い	効果が上がった
指定管理料を除く収入実額	千円	3,774	5,037	5,682	値が大きいほど良い	効果が上がった
案内看板設置・改修箇所数	箇所	2	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標	費用は下がった ○		
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

管理者の高齢化がすすんでいる。また、後任人材が不足している。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	須花坂憩い館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課				款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり			開始年度	H6	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	須花坂公園憩い館（そばレストラン）の管理運営を委託により行う。
------	---------------------------------

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設を適切に管理することで、憩い館への来客数増加、売り上げ増加を図るため、安全な施設の維持を行う。	(3) 目標値						
		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		売上額	千円	12,498	12,500	12,500	13,000	13,500
		利用者数	人	20,000	20,100	20,200	20,300	24,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	須花坂公園憩い館の適切な維持管理を行う。 ・し尿浄化槽維持管理委託 ・消防設備保守点検委託 ・水道管修繕、空調機修理、給茶機修繕	(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移						
		活動指標	単位	R3	R4	R5		
		業務委託件数	件	2	2	2		
		修繕箇所数	箇所	0	3	1		
		市の観光入込客数	千人	6,530	6,429	7,134		
		事業費計	千円	347	374	1,277		
		一般財源	千円	179	201	851		
		特定財源（国・県・他）	千円	168	173	426		
	(うち受益者負担)	千円						

効果説明 (定量及び定性)	売上額及び利用者数ともに増加となった。	(4) 事業効果を説明する数値データの推移						
		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		売上額	千円	10,184	10,586	13,051	値が大きいほど良い	効果が上がった
		利用者数	人	12,434	12,721	14,234	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し		
指標全体	効果が上がった		費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

運営者の高齢化がすすみ、人材不足が顕在化している。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	売上及び利用者数ともに増加しており現状維持とするが、安定した運営のための後継者確保に取り組む必要がある。

事業名	須花坂公園維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課				須花坂公園維持管理事業	款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				須花坂公園維持管理事業	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	6	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則		開始年度	H6	実施方法	一部委託	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	須花坂公園及び周辺の遊歩道の維持管理を行う。
------	------------------------

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設を適切に管理することで来場者の増加及び売上の増加を図り、安全な施設の維持を行う。	(2) 目的		(3) 目標値				
		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		須花坂公園売上額	千円	21,000	21,000	21,000	22,000	23,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	須花坂公園及び周辺の遊歩道及び公衆トイレの維持管理	(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移		
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		業務委託数	件	3	3	3
		修繕件数	件	0	1	0
		市の観光入込客数	千人	6,530	6,429	7,134
		事業費計	千円	971	973	974
		一般財源	千円	515	523	648
		特定財源（国・県・他）	千円	456	450	326
		千円				

効果説明 (定量及び定性)	須花坂公園売上額が増加した。	(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移			↓選択して下さい		
		効果指標	単位	R3	R4	R5		指標の性質	R4とR5の比較
		須花坂公園売上額	千円	14,036	13,736	16,361		値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数		1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0指標			
	効果が下がった指標数		0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用が下がった		
			費用の増減無し			
			費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

下彦間むらづくり推進協議会の高齢化による人手不足。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	栃木県温泉保護開発協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課				栃木県温泉保護開発協会参画事業	款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				業	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意の事業		
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり		事業期間	開始年度	H12	実施方法	直営	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	参画事業		
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	栃木県温泉保護開発協会に会員として負担金を支出し、協会主催の講習会への参加等により温泉専門分野の情報収取を行う。
------	--

(2) 目的

温泉利用の促進と適正な温泉保護により、安全に利用できる施設を維持する。

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
佐野市温泉スタンド利用量	t	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

（市の活動）同協会への負担金の支出、講習会参加、負担金7千円
（栃木県温泉保護開発協会の活動）会議、温泉講習会の開催や栃木の温泉PR冊子の発行、その他情報提供等を実施

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
温泉講習会の受講	回	1	1	1
PR冊子への紹介記事掲載	回	1	1	1
事業費計	千円	7	7	7
一般財源	千円	7	7	7
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

温泉利用量が増加した。

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
佐野市温泉スタンド利用量	t	360	293	528	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果が上がった

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し	○		
費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

管理委託業者より「温泉の汲みあげ量が不安定である」と報告あり。また、温泉の温度が低下傾向にあり、温泉法上の基準を満たさなくなる可能性がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
温泉を安定的に汲みあげるための大規模工事の必要性を検討する。温泉法上の基準を満たさない場合の施設のあり方を検討。

事業名	蓬萊山野外休憩施設解体事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ	
	課	観光推進課				蓬萊山野外休憩施設解体事業	款	7	新規or継続	新規事業
	係	観光推進係				業	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意の事業		
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり		事業期間	開始年度	R5	実施方法	一部委託	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度	R5	事業分類	施設等整備事業		
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市有施設適正配置計画に基づき、地元協議のうえ廃止することで合意形成を行った。建物の老朽化が進んでおり、蓬萊山来訪者の安全面を考慮し解体整地を行う。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市有施設適正配置計画に基づき、施設の解体を行う。 また、建物の老朽化が進んでおり、蓬萊山来訪者の安全面を考慮し解体整地を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		危険のため解体した施設数	個	-	-	1	-	-

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	蓬萊山野外休憩施設の解体 工事完成日 令和6年3月8日	活動指標	単位	R3	R4	R5
		危険のため解体した施設数	個	-	-	1
		事業費計	千円	0	0	4,692
		一般財源	千円		0	4,692
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	解体整地を行った為、蓬萊山来訪者の安全面が確保された。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		危険のため解体した施設数	個			1	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用が下がった	費用が増加した
			費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度で解体完了のため事業終了。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	解体完了のため事業終了。
------	--------------

事業名	万葉自然公園かたくりの里維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予 算 科 目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課				万葉自然公園かたくりの里維	款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				持管理事業	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	事業 期 間	目	4	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり			佐野市万葉自然公園かたくりの里条例	開始年度	H2	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	万葉自然公園かたくりの里の維持管理業務。（施設の管理、修繕、警備委託、消防設備保守点検委託、清掃等委託）
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	かたくりの里を適切に維持管理し、施設来訪者が増加する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		来場者数	人	30,000	30,000	30,000	31,000	32,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	万葉自然公園かたくりの里の維持管理 ・施設の管理、修繕 ・各種業務の委託（管理センター警備、消防設備保守点検、駐車場・群生地清掃業務等） ・業務委託先との連絡調整	活動指標	単位	R3	R4	R5
		修繕箇所	箇所	2	4	1
		市内観光客入込数	千人	6,503	6,430	7,134
		事業費計	千円	3,336	3,780	3,408
		一般財源	千円	3,336	3,780	3,408
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	来場者数が増加した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		来場者数	人	26,222	22,316	26,222	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	0指標		○			
	効果が下がった指標数	0指標					
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

キツネノカミソリの繁殖により、かたくりの花が減少している。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	キツネノカミソリの繁殖対策。
------	----------------

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月8日

事業名	ためまふるさと館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	観光推進課			款	7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市ためまふるさと館条例	事業期間	開始年度	H8	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり	佐野市ためまふるさと館条例	終了年度		事業分類	施設維持管理事業	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備	施行規則					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	田沼地区を中心とした歴史、産業、芸術、文化、生涯学習の拠点施設として、地域産業の発展、教養文化の向上を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	展示会等を市民が利用することで文化的活動の促進と地域産業の周知を図るとともに、ためまふるさと館が安全に利用できるよう、適切な維持管理を行う。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
来館者数	人	12,500	5,000	7,000	9,000	11,000
展示室利用団体	組	20	20	20	25	25

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	観光施設の紹介、遺跡出土品・伝統産業品・特産物の展示。企画展等市民の発表の場を提供する。 山城サミットで使用した甲冑や資料を展示し、国指定史跡唐沢山城跡のPRを実施。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
各種契約事務	件	3	3	3
施設整備・修繕回数	回	1	3	3
事業費計	千円	3,753	4,408	5,168
一般財源	千円	2,927	3,387	4,210
特定財源（国・県・他）	千円	826	1,021	958
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	コロナウイルス感染症が5類へ移行したことから、利用団体数は変化がなかったが、展示等の来館者が増えた。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
来館者数	人	2,670	5,056	5,453	値が大きいほど良い	効果が上がった
展示室利用団体	組	6	17	17	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
市有施設適正配置計画においてAグループ（廃止・譲渡）となっていることから、譲渡に向けた検討を進める。

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月8日

事業名	観光施設改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	観光推進課			款	7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則	事業期間	開始年度	H19	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	老朽化した観光施設の改修を適切に行うことで観光客の安全性及び利便性を図り、佐野市のイメージアップ及び観光誘客へと結びつける。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	適切な施設改修により観光客の利便性を向上し、安全に利用できる施設とすることで、佐野市のイメージアップと観光客の増加につなげる。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市内観光客入込数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> あきやま学寮水中ポンプ取替工事 あきやま学寮高圧負荷開閉器更新工事 蓬山ログビレッジコテージ空調設備改修工事 蓬山ログビレッジ遊具改修工事 白ハゲ口旧四阿撤去工事 唐沢山遊歩道階段改修工事 唐沢山ベンチ改修工事
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
改修工事箇所数	箇所	11	12	7
市有観光施設数	箇所	14	14	14
事業費計	千円	7,023	8,587	11,666
一般財源	千円	6,023	2,970	5,642
特定財源（国・県・他）	千円	1,000	5,617	6,024
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	適切な施設改修により観光客の利便性を図り、佐野市のイメージアップと観光客の増加に結び付けることができた。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
市内観光客入込数	千人	6,503	6,429	7,133	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果が上がった

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

年数の経過により部分的に修繕することができたが、抜本的に見直す箇所も多くあり計画的に修繕、工事が必要である。道の駅どまんなかたぬまの老朽化がすすみ、大規模改修が必要な箇所がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り） 	取組説明
---	------

事業名	観光施設公衆トイレ等維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課			款	7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H17	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	観光施設の公衆トイレ（かたりの里トイレ、マンサクの花咲く道トイレ、唐沢山トイレ、須花坂公園トイレ、蓬萊山トイレ、宇津野洞窟駐車場トイレ、五丈の滝駐車場トイレ、犬伏新町薬師堂の仮設トイレ）、旧田沼高校北側藤棚、唐沢山県立自然公園、首都圏自然歩道（唐沢山）等の適切な維持管理を行う。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	観光施設、駐車場、休憩施設等に設置したトイレの管理を行うことで、快適に使用できるトイレを維持する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市内観光客入込客数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	各トイレの浄化槽管理・清掃委託・施設改修 ・宇津野洞窟トイレハイタンク修繕 ・宇津野洞窟トイレ便器交換修繕 ・宇津野洞窟手洗い水栓取替修繕 ・宇津野洞窟内電気配管修繕 ・宇津野洞窟遊歩道修繕	活動指標	単位	R3	R4	R5
		清掃回数	回	300	300	300
		施設巡回回数	回	24	24	24
		管理する観光資源数	箇所	10	12	14
		事業費計	千円	3,075	3,538	4,123
		一般財源	千円	2,929	3,384	3,969
		特定財源（国・県・他）	千円	146	154	154
		（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	観光地に訪れた人に不快感なくトイレ・駐車場・休憩施設・水汲み場等を利用してもらえたことから、入込客数の増に貢献できた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		市内観光客入込客数	千人	6,503	6,429	7,134	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し		
指標全体	効果が上がった		費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

国や県の観光政策の振興や外国人観光客の増加に伴い、観光施設に対する要望は高まっていると考え、対象に向けた計画を立てる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	
------	--

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月8日

事業名	蓬山ログビレッジ指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し						
	課	観光推進課						蓬山ログビレッジ指定管理事業	予算科目	7	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	観光推進係	名称	項目	1	市単独or国県補助	市単独事業						
	体系コード	212						根拠法令、条例等	6	義務or任意	任意的事業		
	基本目標	2						新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業期間	開始年度	H18	実施方法	指定管理者
	政策	1						観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					
施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備	終了年度	事業分類	施設維持管理事業								

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	蓬山ログビレッジの総合案内施設、コテージ、よもぎの湯、フィッシングセンター、蓬山レストラン等の維持管理、運営を指定管理者に行わせる。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設や周辺の整備を行い、利用者の拡大を図るとともに、安全な施設利用ができるよう維持管理を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		施設利用者数	人	25,000	25,000	25,000	20,000	20,000
		施設利用料	千円	12,000	12,000	12,000	10,000	10,250

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	コテージ運営による宿泊客の確保やよもぎの湯を中心とした日帰り客の誘致。蓬山レストランやフィッシングセンターによる誘客。 また施設の適正な管理を行い、利用者の安全性、快適性等を確保する。遊具の適切な修繕工事を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		施設整備、修繕箇所数	箇所	1	4	3
		市の入込観光客数	千人	6,503	6,429	7,134
		事業費計	千円	5,454	7,898	6,350
		一般財源	千円	5,454	7,898	6,350
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設の適正な管理を行い、利用者の安全性、快適性等を確保し、施設の魅力をPRすることで、施設利用者数等が増加した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		施設利用者数	人	4,891	13,646	14,521	値が大きいほど良い	効果が上がった
		施設利用料	千円	2,587	7,591	7,729	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し			
	指標全体	効果が上がった	費用が増加した				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

近年は類似施設の増加や施設の老朽に伴い、利用者数が伸び悩んでいる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 今後施設の見直しを図り、観光客のニーズに合った施設にしていきたいため長期的な計画が必要である。
---	---

事業名	あきやま学寮等指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予 算 科 目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課				款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	目	6	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり	佐野市観光施設条例	事業 期間	開始年度	H18	実施方法	指定管理者
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり	佐野市観光施設条例施行規則	終了年度	R5	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	あきやま学寮、古代生活体験村、ウッドランド森沢、体験館の利用促進のため、指定管理者と協定を結び、施設の維持管理・運営を委任する。また、施設の安全利用のため修繕等を行う。
------	--

(2) 目的

多くのの人々に本施設を利用してもらい、観光誘客を促進する。

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
施設利用者数	人	9,500	7,000	7,100	-	-
市の観光入込客数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

本市の観光施設である（あきやま学寮・古代生活体験村・ウッドランド森沢・体験館）の利用促進のため指定管理者と協定を結び、施設の維持管理・運営を委任する。また、安全安心の施設利用のための施設の修繕等を行う。

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
修繕箇所	箇所	4	4	4
事業費計	千円	11,698	13,277	12,008
一般財源	千円	11,698	13,277	12,008
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

市全体の観光入込客数は増加したものの、施設の老朽化等もあり、施設利用者数は減少した。

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
施設利用者数	人	564	1,178	1,142	値が大きいほど良い	効果が下がった
市の観光入込客数	千人	6,503	6,429	7,134	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		○	
	効果が下がった指標数	1指標	費用が増減無し		
	指標全体	効果は変わらない	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・アフターコロナにおける宿泊形態（団体から個人・家族へ）の変化に対応できていないため、ニーズを把握し、施設改修やリニューアルが必要である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	民間事業者からの施設活用策を公募し、施設リニューアルを行う。また、市有施設から民間への譲渡・貸付への移行を含め、効果的・効率的な施設の活用案を検討する。
------	--

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	道の駅どまんなかたぬま指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	観光推進課			道	款	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	観光推進係	根拠法令、条例等	事業科目	1	市単独or国県補助	市単独事業		
	体系コード	212			名称	4	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2			新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業開始年度	H20	実施方法	指定管理者
	政策	1			観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり	事業終了年度		事業分類	施設維持管理事業
施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備	佐野市道の駅どまんなかたぬま条例 佐野市道の駅どまんなかたぬま条例 施行規則						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	道の駅として、道路利用者への情報、休憩施設の提供及び情報発信、地域間の交流及び市の産業振興を図る。また、道の駅どまんなかたぬまの維持管理を（株）どまんなかたぬまを指定管理者として実施する。
------	--

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	道の駅の利用者に飲食物、お土産品等の販売、トイレ等サービス、情報提供を行うとともに、農産物直売やレストラン運営などを行い、来場者の利用を促進し、利用者の増加を図る。また、施設が安全に利用できるよう維持管理を行う。	(2) 目的		(3) 目標値				
		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		来場者数	千人	2,150	2,160	2,170	2,180	2,190
		売上額	百万円	1,715	1,750	1,800	1,850	1,900

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	指定管理者(株)どまんなかたぬまによる、道の駅の運営管理を実施。道の駅を利用する観光客への観光情報発信。	(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移			
		活動指標	単位	R3	R4	R5	
		開館日数	日	315	316	317	
		市民数	千人	116,982	115,700	114,695	
		関東地方1都6県の人口	千人	47,500	43,535	47,420	
		事業費計	千円	49	50	53	
		一般財源	千円	49	50	53	
特定財源（国・県・他）	千円						
		(うち受益者負担)	千円				

効果説明 (定量及び定性)	来場者数は減少したものの、売上額は増加した。	(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移				↓選択して下さい	
		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質		R4とR5の比較
		来場者数	千人	2,145	1,906	1,963	値が大きいほど良い		効果が上がった
		売上額	百万円	1,701	1,514	1,832	値が大きいほど良い		効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化がすすんでいる。大規模改修等の検討が必要。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

事業名	温泉スタンド維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課				温泉スタンド維持管理事業	款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係					項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	目	6	義務or任意	任意の事業		
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり		事業期間	開始年度	H13	実施方法	一部委託	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業		
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市民や道の駅利用者等の観光客に温泉の提供を行う。また、保守管理や水質検査を業務委託により実施し、施設の適切管理を行う。
------	---

(2) 目的

施設を適切に維持管理し、市民や観光客に温泉を供給する。

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
温泉利用量	t	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

機器の保守管理、温泉の水質検査の実施
一般給湯口での一般客への温泉提供及び隣接する「道の駅どまんなかたぬま」足湯での利用

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
保守点検回数	回	24	24	24
水質検査回数	回	1	1	1
施設等修繕回数	回	0	0	0
事業費計	千円	1,427	1,452	1,459
一般財源	千円	1,427	1,452	1,459
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

温泉利用量が増加した。

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
温泉利用量	t	360	293	528	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用が下がった	費用が増減無し
			費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

温泉の汲みあげ量が不安定であると管理委託業者より報告を受けている。また、温泉の温度が低下傾向にあり、温泉法上の基準を満たさなくなる可能性がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
温泉を安定的に汲みあげるための大規模工事の検討。温泉法上の基準を満たさない場合の施設廃止を検討。